



独立行政法人
統計センター



〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1 総務省第2庁舎
採用窓口：総務部人事課人事係 TEL:03-5273-1213(直通)
E-mail:b-jinji@nstac.go.jp

■ 統計センターへのアクセス



- 都営地下鉄 大江戸線若松河田駅より 徒歩約5分
- 東京メトロ 東西線早稲田駅より 徒歩約15分
- 東京メトロ 副都心線東新宿駅より 徒歩約15分



先輩からのメッセージ

一般職採用案内



独立行政法人
統計センター

National Statistics Center

統計センターの経営理念

豊かな社会づくりのための情報基盤の整備と国民生活の向上に寄与

【 3つの使命 】

正確な統計の作成
(統計をつくる)

社会経済情勢の変化や動向を的確に表す統計の作成に向けて、長年培ってきた経験と専門性を活かすとともに、徹底した秘密の保護の下に、高い品質と信頼性が確保された統計を迅速に作成・提供し、社会経済の発展に貢献します。

統計データの
利活用の推進
(統計を活かす)

社会の発展を支える情報基盤である統計データについて、多様な利用者ニーズに応えるため、厳正な情報管理の下に、多角的なサービスを提供し、統計データ利活用の推進に寄与します。

公的統計の
発展の支援
(統計を支える)

公的統計の共通的な業務基盤・利用基盤となるサービスの安定的な提供に取り組むとともに、統計の一層の品質向上と信頼確保を図るため、政府における中央統計機構の一員として、蓄積されたノウハウを活かし、公的統計の発展を支援します。

弛まぬ技術の向上

これら3つの使命を果たすため、理論に裏打ちされた統計技術や先進の情報通信技術(ICT)の活用を推進するとともに、学術研究機関や諸外国・国際機関との連携を図りつつ、最新の理論も導入した高度な統計技術の研究開発に取り組むことによって、弛まぬ技術の向上を図ります。

適正な組織運営

業務の高度化・効率化を進めるとともに、公的統計機関としての高い使命感と倫理観に基づき、職員が働きがいを持ち続けられるよう、法人価値と職員意識を共に高め、いく組織風土の醸成に取り組むなど、適正な組織運営を行います。

求める人材像

官庁データサイエンティストを目指す人

何事にもコツコツ取り組む向上心のある人

探求心、行動力がある人

世の中の役に立ちたい人

CONTENTS

- 1) 組織図 p02
- 2) 先輩職員からのメッセージ p03
- 3) 先輩職員からのメッセージ(管理職) p08
- 4) キャリアパス p10
- 5) 仕事 with 育児 p11
- 6) 若手職員へのアンケート p13
- 7) Q&A p14

統計センター 組織図

(令和3年4月1日現在)



総務省

- 大臣官房
- 行政管理局
- 行政評価局
- 自治行政局
- 自治財政局
- 自治税務局
- 国際戦略局
- 情報流行政局
- 総合通信基盤局
- 公害等調整委員会
- 消防庁

統計関連組織

- 統計局
- 政策統括官 (統計基準担当)
- 統計研究研修所

統計センターは、総務省所管の独立行政法人であるとともに、総務省の統計関連組織と一体となり、統計行政を推進しています。

福利厚生 の充実を図り、 職員の活躍を 支える

総務部厚生管理室

平成31年 4月 統計センター採用
現職

より良い製表を 目指して

統計編成部経済統計編成課統計専門職

平成20年 4月 統計センター採用
製表部製表グループ
平成25年 4月 製表部審査課
平成27年 4月 統計編成部審査課
平成30年 4月 統計編成部経済統計企画課
平成31年 1月 統計編成部経済統計編成課
令和2年 4月 現職

職場の窓口として

私が所属している総務部厚生管理室では、統計センター内の様々な福利厚生業務を行っており、統計センターに勤務されている職員の方々が滞りなく業務できるよう環境を整えることを目標に業務に取り組んでいます。

福利厚生業務といっても、共済組合事業や職員の健康管理、非常勤職員の社会保険事業などと、業務は多岐にわたります。その中でも私が担当している業務が、職員の相談・届出を受ける窓口業務、財形貯蓄業務と社会保険関係事務です。大まかな業務内容としては、相談窓口として職員からの相談を受ける傍ら、毎月の給与計算や財形貯蓄報告書の取りまとめ、非常勤職員の採用や退職時等の雇用保険・社会保険の届出を行っています。これらは1年を通し随時発生する手続きなので、先を見通し計画性をもって業務に取り組むよう心がけています。新たに学ぶことの多い日々ですが、やりがいを感じ刺激ある毎日を過ごしています。

退庁後は同期会へ参加したり、直帰して自分の時間を過ごしたりしています。休日は、まとまったお休みが取りやすいので、連休を利用して帰省したり、スポーツが得意なのでサッカーやスノーボードをして体を動かしたりしています。



MESSAGE

私は入庁時、統計の知識が全くなく、一年目の現在も統計の作成に直接携わってはおりませんが、統計に携わる課に配属された同期からは「研修制度が整備されており、安心して業務ができる」といった話をよく聞きます。また、福利厚生が充実していることから、将来設計がしやすく、長く統計センターの業務に携われることも魅力の一つだと感じています。統計センターで、皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしております。

現在の業務について

私の所属する経済統計編成課では、主に経済センサス-活動調査や経済構造実態調査など全国の事業所及び企業を対象とした統計調査の製表等に関する企画やシステム開発、調査票情報や集計結果の審査を担っているところです。

現在、私は、経済構造実態調査を担当しており、製表事務の企画・設計や関係部署との調整を行っております。

新しい統計調査の企画

経済構造実態調査は、2019年に創設された新しい統計調査です。私はこれまで、様々な統計調査の製表や審査に携わりましたが、業務内容や使用するシステムは、調査の特性に応じて異なります。経済構造実態調査の製表に必要な事務は何か。どんな手法・システムが最適か。新しい統計調査であるため前例のない中での検討は、様々な難題に直面することもありましたが、関係部署と検討を重ね、より正確かつ効率的な製表業務を企画するために、一つ一つ作り上げていくことは、責任が大きい反面やりがいも大いに感じられました。

楽しく働くために

業務が多忙な時期もありますが、楽しく働くためにも「仕事」と「プライベート」のバランスが大切です。統計センターは休暇が取りやすい環境が整っています。私は、リフレッシュ休暇などを利用し海外旅行に行ったり、休日は友人と食事したりすることで心身ともにリフレッシュし、仕事の活力にしています。



MESSAGE

統計センターには、調査票から統計結果を作成する「製表」をはじめ、様々な業務が存在します。配属される部署により、違う視点で統計に携わることができると思います。統計の知識がなくても、業務を通じて習得することができますので、少しでも興味を持たれた方は、是非チャレンジしてみてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

統計データを使って 身近な疑問分析 しませんか

統計技術・提供部統計情報提供課
利用審査第1係長

平成 22年 4月 統計センター採用
情報技術部情報処理課
平成 25年 4月 製表部情報処理課
平成 27年 4月 統計編成部人口統計企画課
平成 28年 4月 統計編成部情報ソリューション課
平成 29年 4月 国立大学法人一橋大学助教
平成 31年 4月 情報技術センター統計情報提供課統計専門職
令和 元年10月 情報技術センター統計情報提供課利用審査係長
令和 2年 4月 現職



正確な統計の 作成に向けて

統計編成部編成管理課統括統計職

平成 7年 4月 総務庁採用
統計局統計調査部消費統計課
平成 10年 4月 総理府国際平和協力本部事務局
平成 12年 4月 沖縄開発庁振興局振興第2課
平成 14年 4月 関東管区行政評価局総務部総務課
平成 16年 4月 統計局総務課
平成 19年 4月 統計局総務課主査
平成 21年 4月 総務部財務課調達係長
平成 24年 4月 総務部財務課経理係長
平成 25年 8月 製表部製表グループ係長
平成 27年 4月 経営審議室参事(総務担当)付調整係長
平成 30年 7月 統計編成部統計分類課主席統計職
平成 31年 1月 統計編成部統計分類企画課統括統計職
令和 2年 4月 現職



公的統計データの利用促進

近年話題となっている、EBPM(エビデンスに基づく政策立案)推進のため、公的統計の利活用促進・環境改善が行われています。これに関連して、令和元年5月に改正統計法が施行され、調査票情報の二次的利用制度の拡充や新たな利用方法としてオンサイト利用が可能となり、公的統計がより利用しやすくなりました。

現在担当している業務

そのような中で、私が所属してる担当は、統計データの二次的利用サービスに関する業務を実施しており、統計データの利用を希望する方々からの相談や申請内容の確認、及びデータの提供を行っています。これらの業務は、和歌山県にある「統計データ利活用センター」と共に、TV会議やメールなどを通じて一体となって対応しています。

様々な経験を生かして

平成31年4月まで国立大学法人一橋大学に助教として出向をしていました。一橋大学では現在とは反対の立場で、統計データを利用する立場にいました。実際に統計データの利用申請や分析をした経験は、現在の業務に生かすことができ、それ以外にも数多くの経験をすることができました。

また、世界各国における統計データの安全性をどのように確保しているかを議論する国際会議の参加やEU圏で利用されている統計データから作成された統計表の安全性確認のためのチェック基準に関する研修に参加するなど、海外から情報収集をする機会もあります。



MESSAGE

もしかすると、この段階で「こういうことがしたい」という明確な目標を持っている方は少なくないかもしれません。統計センターでは統計を「つくる」、「生かす」、「支える」という3つの役割を担っていますが、中でも「つくる」という部分が分かりやすいため主な仕事と思われがちです。しかし、統計という世界から見ると一部でしかありません。統計センターにきて、統計の新しい一面を見つけてみませんか。

現在行っている仕事

統計センターの使命の一つに「正確な統計の作成(統計をつくる)」を掲げています。

私は、正確な統計を作成するための様々な業務のうち「分類符号格付の民間委託」に関する企画や業務管理を担当しています。

「分類符号格付とは何だろう?」と思われるかもしれませんが、統計調査を実施した結果、例えば、ある企業が「原材料を加工することによって自動車を生産しています。」との回答であった場合には、311(自動車・同附属品製造業)に分類(符号化)することとなり、このような、企業の活動を各産業へ正確に分類することをいいます(産業の分類だけでも約700分類にも及びますが、その他、職業や家計の収支に関する分類もあります。)。

この「分類符号格付」に関する業務について、統計結果公表の早期化への対応などから、企業の皆様へ業務の一部を委託しています。

なお、業務を委託するに当たっては、私たちが正確な統計を作成するための知識や経験があることがとても重要となります。

休日の過ごし方

趣味は釣りです(釣り歴は長いですが、釣果は少ないのです。)。釣りが趣味の上司の方たちと(家族の了解が得られる範囲で)釣りに行って、リフレッシュしています。



MESSAGE

国家公務員を志望される皆さんは、「国民が将来にわたって安心して生活できる社会基盤を作ることに貢献したい。」といった志を持っていらっしゃると思います。

統計センターの行った業務の結果は、公的統計として人口や失業率、消費者物価指数などの国民生活を支える政策の基礎として活用されるものであることから、志を持った方が活躍できる、やりがいのある仕事です。

私たち統計センターは、志を持った皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

統計を世の中に 広めよう！

情報システム部共同利用システム課
課長代理

昭和 62年 7月 総務庁採用
統計センター管理部情報処理課電子計算機室
平成 元年 7月 管理部情報処理課
平成 11年 4月 人口製表部人口製表第一課
平成 16年 4月 製表部事業企画課主任製表職
平成 20年 4月 情報技術部共同利用システム課上級情報技術職
平成 22年 11月 統計局統計情報システム課開発企画第二係長
平成 25年 10月 製表部情報処理課係長
平成 27年 10月 統計編成部企画課係長
平成 29年 4月 統計編成部企画課主席統計職
平成 31年 1月 統計編成部統括統計職
平成 31年 4月 現職

信用できる統計を つくる職場

統計編成部人口統計編成課副課長

昭和 58年 10月 総理府採用
統計局製表部電子計算課
昭和 59年 7月 管理部情報処理課電子計算機室
昭和 62年 7月 総理府賞勲局総務課
平成 2年 4月 統計局総務課
平成 6年 1月 経済製表部経済製表第二課
平成 14年 4月 人口製表部人口製表第二課統計製表官
平成 18年 4月 製表部マネージャー付主任製表職
平成 23年 7月 製表部製表グループ係長
平成 24年 10月 製表部管理企画課特別上級製表職
平成 26年 10月 製表部統計分類課係長
平成 27年 4月 統計編成部統計分類課主席統計職
平成 30年 4月 統計編成部統計分類課統括統計職
平成 31年 4月 統計編成部統計分類企画課課長代理
令和 2年 4月 現職

e-Stat知ってますか？

共同利用システム課は、政府統計共同利用システム (e-Stat) を運用・管理しています。

e-Stat とは、各府省が公表した統計データ等を一つにまとめ、統計データの検索をはじめとした、様々な機能を備えた政府統計のポータルサイトです。知りたい統計データを簡単に検索して、パソコンにダウンロードできるほか、データベース化されたデータを使って人口ピラミッドなどのグラフを作成する機能、統計データを地図上に表示する機能など、ユーザのニーズが高い機能を数多く備えた便利なサイトです。

このe-Statの利用方法について、地方公共団体や民間企業の方へ説明を行う機会もあります。利用者の方から「地図に統計を表す機能を分析に役立てます。」「統計データを活用しています。」等のお話を伺うこともでき、業務に活用していただけることが実感できます。

私には、20年間続いている旅仲間がいます。同じ部署に配属され仲良くなった5人です。休日や休暇を利用して、海外は、ドバイ、オーストラリア、カナダ等、国内は伊勢神宮や、しまなみ海道等様々な場所に行ってきました。統計センターで、たくさんの経験と、すてきな仲間ができました。



MESSAGE

統計データは、政策の立案や評価だけでなく民間企業や大学等の様々な場所で活用されている重要な社会を支える土台です。統計センターでは、統計の作成や、政府統計のポータルサイトであるe-Statによる統計の提供等、統計に関わる様々な仕事に携わることができます。

統計センターの一員として、世の中に役立つ統計に関わる仕事を一緒にしませんか。

私たちがつくる統計

餃子の消費支出、1位は宇都宮なのか？浜松なのか？というような、まちおこしの話題づくりなど様々な場面で統計データは利用されています。このデータは、各家庭で毎日家計簿をつけてもらい1か月間の家庭の収入がどのくらいあり、どのようなものをどのくらい買っているのかを調査している家計調査になります。結果については、メディアで取り上げられるような「食料品」などの購入頻度や支出金額からみる上位はどの地域なのかというような話題性のあるデータも見ることができます。

統計分類として

調査票に記入された内容ついて、統計に使用するための定義にあてはめて、分類符号を格付して集計します。例えば、「お米」の符号は「102」、餃子の符号は「371」等となります。私が所属している部署の所掌業務は、正しく「分類符号の格付」に係る基準に沿った取り扱いや格付手法について企画、調整及び研修を行っています。

情報技術の進歩とともに

私が採用された総理府統計局時代には、格付作業は人手により鉛筆で符号を記入してその後OCR機(光学式文字読取り装置のこと。文字を光によって読み取り、文字コードに変換するシステム)で読み取り集計を行っていました。月日が流れるとともに情報技術の変化も急速に進み、分類符号格付手法も「手書き」⇒「パソコンの格付画面に入力」⇒「機械による格付」(ICT(情報通信技術)の発展によりOCR機による文字認識を行い、データ化した文字から機械的に格付する。)など変化を遂げてきています。日々刻々と変化していくICT社会の中で研修の形態も変化し、紙媒体の冊子による対面研修からe-ラーニング教材による自学自習型になってきています。



MESSAGE

勤続38年間の中で総理府や統計局への出向で経験を積み、周囲の上司や同僚とともに業務に取り組みながら、結婚し子育てするなどワークライフバランスを保ちつつ仕事を続けることができる環境です。また、研修教材をe-ラーニング化するなど様々な効率的な手法については、職員でプロジェクトチームを構成し、そのチームで検討を重ね作成して実現していくプロセスはとても充実した達成感を得ることができます。

皆さんも私たちと一緒に統計をつくる仕事に従事してみませんか。

新たな事業に 一番乗り

統計編成部経済統計編成課
企業調査支援室長

平成 3年 4月 総務庁採用

統計センター管理部情報処理課

平成 11年 4月 沖縄開発庁総務部会計課給与支給係長

平成 15年 4月 製表部情報処理課上級製表職

平成 20年 4月 統計局統計調査部消費統計課企画指導第一係長

平成 22年 4月 情報技術部情報処理課主席情報技術職

平成 25年 4月 統計局統計調査部経済基本構造統計課課長補佐

平成 27年10月 経営審議室参事(総務担当)付課長代理

平成 29年10月 管理部人事課課長代理

平成 30年10月 統計編成部経済統計企画課

事業所母集団情報整備室統括統計職

平成 31年 1月 現職

現在の仕事「企業調査支援事業」

統計センターでは、統計調査に対する報告負担の軽減を目的として、経済統計への影響度が高い上場企業などを対象とした「企業調査支援事業」を新たに開始し、2019年度には本事業の一環として総務省・経済産業省所管の「経済構造実態調査」を初めて実施しました。この事業は、統計センター職員が企業専任のスタッフとなり、また、対象企業と統計センターとの双方向のやり取りを可能とする専用システムを運用しながら、対象企業における統計調査への回答をサポートするものです。

統計センターは、統計調査で得られた調査票情報から統計を作成する専門機関ですが、本事業は、調査対象の方と直接向き合うことで、集計された統計値では見えにくい個々の企業の営みが肌で感じられ、回答に携わる方のご負担に寄り添うことで、回答いただいた調査票情報の1票1票に重みを感じることができます。



オフタイム

休日は、週末帰宅前の備忘録に全てを託して何も考えないで過ごします。ともにインドア派の子供とTVゲームをしますが、子供の成長なのか自身の衰えなのか、最近の対戦では全く勝てなくなりました。まとまった休みにする家族旅行では、プラン立てや事前の手配は全て妻に任せ切りなので、現地に着くまで宿泊場所も知らないミステリーツアーになります。



MESSAGE

このパンフレットに掲載されている私の写真が笑顔に写っているようでしたら(?)、周囲の皆様の支えにより成り立っています。既に退職された諸先輩方も多くありますが、親身なご指導ご鞭撻によって今の私があること、統計センターにおける人と人とのつながりに感謝しております。

統計業務に従事するなかで、担当した統計調査の結果がニュース等で報道されると嬉しく思います。また、現在の仕事に取り組むなかでは、各業界の動向などのアンテナが高くなり、これまで何気なく見ていたテレビCMや近所の店舗の開廃などにも関心が芽生えるようになりました。

新規事業の取り組みでは、各人のちょっとしたアイデアで劇的な業務改善が起こる要素が多分にあります。始まったばかりの「企業調査支援事業」では、現在も若手職員が存分に活躍しており、今後の事業拡大に向けて、経験の有無に拠らず積極的に仕事に取り組むことができる人材が多く集まることを熱望しています。ご関心が得られましたら、是非統計センターをお尋ねください。

職員のキャリアパス

統計センターでは、数年ごとに人事異動があり、様々な部の仕事を経験します。その中で、各自の適性に応じた専門性を培っていきます。また、定期的に配属先に関する希望を申告する制度があります。



管理職

課や室の責任者として、課室員全体のマネジメントを行う。



課長代理

様々な経験をする中で培ってきた専門性を活かしつつ、課の業務の取りまとめなど、課長を支える役割を担う。



係長

課長代理のサポートを行いながら、係の業務の責任者となり、部下への指導を行う。



係員

先輩や上司から業務の内容や仕事の進め方などを学び、係長、課長代理のサポートを行い、課内業務の円滑化を図る。

研修

職務と責任の遂行に必要な知識、技能等を習得させるとともに、その遂行に必要な能力、資質又は統計センターの職員として必要な専門知識の向上を図るための研修制度を整備している。

<階層別研修>

新規採用職員研修、新規採用職員フォローアップ研修、係長等研修、課長代理等研修、管理職等研修等



<技能別研修>

PC研修、語学研修、資質向上研修、財務会計研修等



出向

霞が関にある総務省や内閣府等のほか、和歌山県の統計データ活用センターに異動となる場合もあります。



子育てをしながら働く女性にとって理想的な職場

統計編成部人口統計編成課

平成 22年 4月 統計センター採用
製表部製表グループ
平成 24年 4月 情報技術部情報処理課
平成 25年 4月 製表部情報処理課
平成 27年 4月 統計編成部人口統計企画課
平成 31年 1月 現職



さまざまな調査に携わることができる

私の所属する人口統計編成課では、主に国勢調査、住宅・土地統計調査、就業構造基本調査、労働力調査といった様々な調査の製表に関する企画・システム開発・審査を行っています。中でも私は企画担当として、製表システムの仕様書の作成やデータチェック要領の作成などを担当しております。

現在は4歳の子供がいるため、育児時間を取得し、子供のお迎えに間に合うように帰宅しています。子供の通院や保育園の行事などの際には、テレワークも大いに活用し時間を有効に使っています。

MESSAGE

統計センターは、男性だけでなく多くの女性が活躍する職場です。出産・育児を経験された先輩方が多く、育児に対する理解が非常に高いため、子育て制度（育児休業、看護休暇、調和休暇）やテレワークも積極的に活用しやすい職場です。

出産前は子育てをしながら働くということに不安がありましたが、今こうして子育てをしながら仕事を続けられているのは、職場の制度や周りの方々のおかげです。統計センターは、子育てをしながら働きたい女性にとって、とても理想的な職場だと思います。

毎日忙しいけど、とっても充実！

朝は仕事に行く準備と保育園の準備・送迎を行ってから出勤します。帰宅してからも育児・家事に追われ、毎日忙しい日々を送っていますが、子育てをしながら働くことで、職場ではたくさんの人と関わることで、仕事をする中でやりがいや、達成感を得ることができます。また、家庭では子供と公園へ出かけたりして子供と一緒に遊ぶことでリフレッシュにもなるので、毎日とても充実しています。

子育てをしながら働きやすい環境

子供がまだ小さいため、保育園からの呼び出しや病気のために急な休暇をとることが多々あります。限られた時間内で仕事をこなすことは大変ですが、上司や周りの方々の理解や、サポートをいただいているおかげで、家庭と仕事を両立することができています。また、職場には子育てをしながら働いている職員がたくさんいるので、仕事や子供のことについて相談をしあったり、休日も職場の同僚や先輩の家族と子供も交えて遊んだりしています。

システム開発で統計の品質を支える

消費統計編成課は、全国家計構造調査、家計調査、小売物価統計調査など、消費者の生活に関する統計の製表業務を行う部署です。統計表を作成する工程には、調査票に記入された内容の審査、審査した結果の集計などがあり、その総称を「製表」と言います。私の仕事は、これらの工程で使用するシステムを開発することです。

製表業務で使用するシステムは、調査の特性に合わせて、調査ごとに開発を行うため、プログラミングスキルだけでなく、統計及び各調査の専門的な知識も要求されます。統計の品質を左右する業務であるがゆえに、緊張感もありますが、開発したシステムがリリースされた時にはとても充実感があります。



正確な統計は充実した職場環境から生まれる

情報システム部システムソリューション課

平成 23年 4月 統計センター採用
情報技術部情報処理課
平成 25年 4月 製表部情報処理課
平成 27年 4月 統計編成部情報ソリューション課
平成 31年 1月 現職

MESSAGE

「システム開発」と聞くと、難しいイメージを持たれるかもしれませんが、私も採用されるまで、プログラマーとしての知識は全くありませんでしたが、充実した研修と周りの温かい先輩方のおかげで10年間、今の業務に携わることができています。

統計センターには、業務に取り組みやすい環境に加えて、ライフワークバランスを取るための様々な制度と、制度を活用しやすい風土があります。統計に少しでも興味があれば、是非チャレンジしてみてください。

育児休業制度を活用してみて

子供が産まれる半年ほど前から、育児休業について上司と相談し、希望した時期に1か月間、取得しました。夫婦共に地方出身者で、親族や知人のサポートを受けられないため、理解のある上司や同僚に恵まれた環境には大変感謝しています。

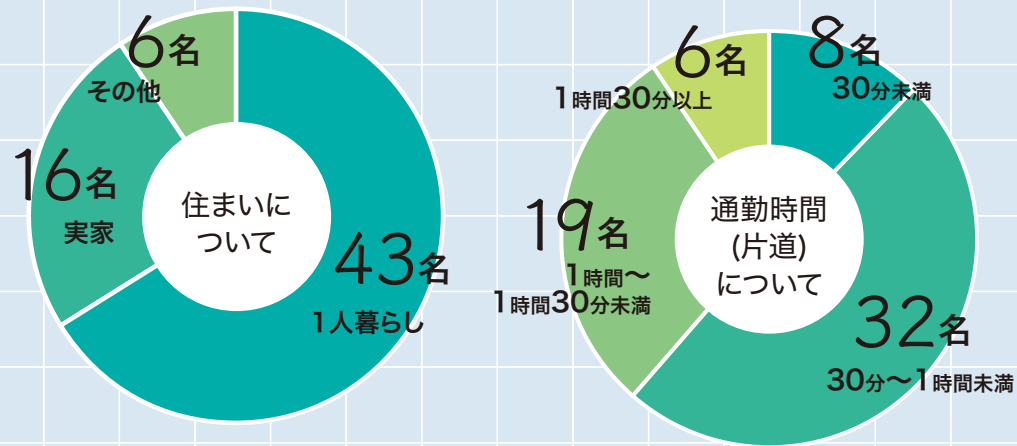
育休期間中は、家事・育児の他に定期健診や保育園見学にも同行するなど、充実した毎日をご過ごせました。特に保育園見学は、平日に開催されるため、育休を活用することで、多くの園を見て回ることができました。家庭に専念する時間ができて、育児における当事者意識も自然と身に付いたと思います。何よりも、子供の成長を日々間近で見て、愛情が湧いたことは、一番良かったことだと感じました。

統計センターは、休暇以外にも、テレワーク・フレックス制度・ゆう活など自分に合った働き方を選択できる環境が整っています。仕事に復帰した後は、それらを活用して家庭と仕事のバランスを保つように心がけています。

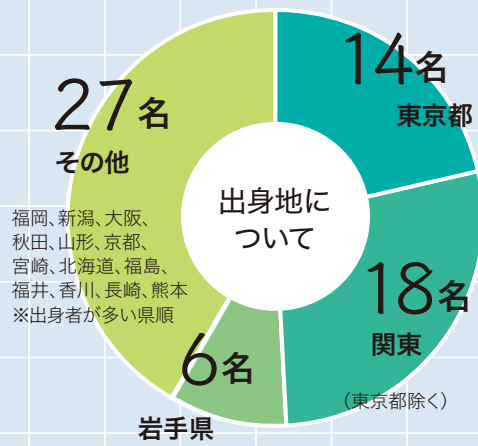


若手職員アンケート

若手職員にアンケートへ答えていただきました！



目標を持って努力すれば
必ず夢は叶います！
厚生管理室



一緒に働けることを
楽しみにしています。
経営企画課



働きやすい環境が
整っている職場です！
人事課



Q:職場の雰囲気を教えてください

- ・同じ部や課でも部屋や担当ごとに雰囲気は変わります。静かだったり、明るかったりとどの部屋も過ごしやすい 雰囲気だと思います。
- ・優しい方が多く質問や相談がしやすい雰囲気です。
- ・繁忙期等は緊張感が漂うこともありますが、基本的には和やかで明るい雰囲気です！

Question & Answer

Q:独立行政法人統計センターではどのような業務を行っているのですか。

A:統計局が実施する国勢調査等の統計調査や各府省等が実施する統計調査の統計表作成(製表)を行っています。また、「政府統計共同利用システム」を運用管理し、「オンライン調査システム」等のサービスの提供を行っているほか、公的統計の二次的利用制度として、オンライン利用による調査票情報の提供、匿名データの提供、オーダーメイド集計といった様々な統計関連業務を行っています。さらに、政府における中央統計機構の一員として、各府省等からの統計作成に係る相談への対応等、積極的な支援を行っています。

Q:過去の採用実績はどうなっていますか。

A:令和2年度(大卒程度:8名、高卒程度:7名 計15名)
令和元年度(大卒程度:11名、高卒程度:9名 計20名)
平成30年度(大卒程度:7名、高卒程度:11名 計18名)

Q:独立行政法人統計センターの職員は国家公務員ですか。

A:職員の身分は**国家公務員**です。
独立行政法人には、職員に国家公務員の身分を付与する法人(行政執行法人)と非公務員とする法人(中期目標管理法人、国立研究開発法人)があります。統計センターは行政執行法人に当たります。

Q:勤務時間や残業の有無について教えてください。

A:勤務時間は配属先により、**9:00～17:30又は9:30～18:00までの2区分が基本**となりますが、育児・介護を行う職員のための早出・遅出区分があるほか、**フレックスタイム制度の導入やテレワークの推進もしており、多様な勤務形態**が可能です。また、時期は部署によって異なりますが、繁忙期に業務上必要となった場合は、超過勤務が生じることもあります。

Q:配属先や勤務先が変わることはないのですか。

A:採用時の配属先は、統計センター内の各課室となり、その後、数年ごとに人事異動があります。統計センター内での異動が主となりますが、霞が関にある総務省や内閣府等のほか、和歌山県の統計データ利活用センターに異動となる場合もあります。

Q:採用に有利な資格はありますか。

A:採用に当たって必要となる資格はなく、**人物本位で選考**を行います。統計検定(統計質保証推進協会)や情報処理、ICT技術、語学等に関する資格・スキルを有していると、採用後の業務において、生かせる場合があります。

Q:統計に関する知識がないのですが、仕事をする上で大丈夫ですか。

A:採用後、新規採用職員研修を行うほか、配属先に応じて業務に必要な各種の研修を行いますので、**意欲を持って取り組みれば心配ありません**。業務研修以外にも、**スキルアップのためのPC研修や語学研修等**を実施しています。

Q:職場の雰囲気は、どんな感じですか。

A:**職員の約7割が女性**です。複数の職員が協力して行う仕事が多いので、緊張感を持ちつつも、チームワークよく和やかな雰囲気を持った職場です。

Q:職員は関東出身の人が多いのでしょうか。

A:平成15年以降に新規採用した職員の出身地割合は、以下のとおりです。統計センターでは、**全国各地の出身者が活躍**しています。

出身地方	割合
北海道・東北	21%
関東	45%
中部	13%
近畿	5%
中国・四国	3%
九州	13%

Q:福利厚生について教えてください。

A:庁舎内にコンビニエンスストア等の厚生施設があります。また、健康管理面のサポートとしては、庁舎内の診療所で内科、歯科、耳鼻科等を受診することができるほか、定期的に健康診断や健康相談も実施しています。

Q:統計センターの業務説明を受けたいのですがどうしたらよいですか。

A:統計センターでは、国家公務員試験(第1次試験)合格者に対して、業務説明会を予定しております。
ホームページ(<http://www.nstac.go.jp>)に順次情報を掲載しますので、詳しくは各試験区分の情報をご覧ください。